



特定非営利活動法人 Arts Planet Plan from IGA

アトリエニュース

〒518-0205 三重県伊賀市伊勢路字青山1381-77 Tel (186-)0595-53-1077



[2008/3/15発行 編集担当:八木 直子]

この冬は各地で雪が多く降り、寒い日々が続きました。まだ3月中旬になっても、朝晩の寒さが厳しく感じられます。寒さが厳しい中、炎のゆらめきは美しく暖かいものです。3月22日から窯焚きが行われます。参加者大募集中です。春の足音が聞こえだしたアトリエに、(防寒具を忘れず・・・)足を運んでみてはいかがでしょうか。

今号は第3回、第4回実技講習会と「粘土カフェ」の活動報告や3月の「研修旅行」の報告をお届けします。

第3、4回実技講習会「金属工芸／キャンドルスタンド制作」「ガラス工芸/トンボ玉入門」報告

★本年度第3回目の実技講習会は、講師を法人会員の小谷氏が引き受けてくださり、金属工芸による「真鍮（しんちゅう）のキャンドルスタンド」の制作が行われました。定員を超える12名の参加者がお皿の加工と真鍮棒の加工に分かれて作業をスタート。会場には早速、木台や当て金を使いながら木槌をふるう音が響き渡りました。また硬そうに見える真鍮の棒が、バーナーで焼鈍（なまし）をすると飴のようになじりと曲がる様子に感嘆の声もあがっていました。最後は研磨剤でピカピカに仕上げ、組み立てて完成。金属を加工するのは初めてという参加者がほとんどでしたが、みなさん無事に仕上がりました。お疲れ様でした。

(第3回実技講習会担当：田井 佳子)



(説明)



(ボール盤での加工)



(焼鈍作業)



(できあがった作品)

★伊賀でも数年ぶりの大雪が降りしきる中で開催した第4回実技講習会（ガラス工芸/トンボ玉入門講座）は外部講師としてお迎えした大阪府立大正高等学校の曾根唯夫先生に加えて、急遽、ご参加頂いた元大阪府立高校美術教諭の友永和子先生のお二人による丁寧なご指導で、午前午後の部に別れ、会員8名、会員家族2名、一般市民の方など6名の併せて14組16名の参加者で開催しました。市民の方の中には昨夏や03年のレジデンスの造形教室の参加者やその保護者の方、学生ボランティアさんなどが5名も含まれており、これまでの活動と交流の広がりが着実に根付いている様子が伺われました。ガラスを扱うのは初めての方も多し中、丁寧なご指導のもと、参加者の皆さんはトンボ玉・マドラーなどを制作されていました。バーナーの熱を加えると徐々にガラスが水飴のように軟らかくなり、ステンレス棒に巻きつけて、それぞれ思い思いの形を作っておられました。一人で5つほどの作品を作られた方もあり、今回の講習でトンボ玉にハマッタ方もあるようで、自分の道具を購入する意向の方も居られるほど、皆さん大変満足された様子でした。

(第4回実技講習会担当：森田 耕太郎)



(完成した作品)



(バーナーワークに挑戦中)



(雪に覆われたアトリエ)

研修旅行 佐久島に行ってきました！

今年度は3月8・9日に愛知県の常滑市および一色町佐久島へ行きました。今年は乗用車を使っての一泊二日を過ごしました。8日は各方面からの参加者が名古屋駅前で合流し、会員9名と伊賀県民センター職員の方や元青山町長さんも参加され、総勢12名で「常滑」散策に向かいました。前回参加者の常滑市在住の家坂さんに案内して頂き、有意義な陶郷散策となりました。夕刻に渡船でアートと祭りの島「佐久島」に渡り、民宿へ直行、特別料理を囲んで、12名での楽しい晩餐会となりました。

二日目は、佐久島島内をくまなく散策、海岸に点在するオブジェなどを鑑賞しながらの道のりは短く感じるものでした。また、島内は数多くの作品が至るところに展示されていました。今回は高校の美術の教科書にも載っている青木野枝さんの特別展に合わせての旅行。常設されている作品以外にも多くの作品に巡り合うことができました。ユニークな作品との出会いがあり、参加者それぞれが何かを感じられたのではないかと思います。

最後になりましたが、事故や怪我をすることもなく旅行が終了できましたのも、参加者の皆様のご協力があった結果と感謝いたしております。

(研修旅行係：藤田邦子)



(INAX ライブミュージアム)



(青木野枝作品)



(作品とともに)



(集合写真)

いよいよ窯焚きです！

私達の穴窯焼成は、燃料となる赤松を購入するのではなく、間伐材を有効に再利用するという考え方が特徴の一つです。材木を提供くださる各方面のご理解ご協力に支えられ、作陶と平行して、薪運びや薪割りに汗を流してきました。その様子は、地域のテレビでも紹介されました。広くこの活動を知って頂き、学生ボランティアさんや一部のメンバーだけに負担がかからないよう、できるところで力を出し合える仲間を、継続して募集していきたいと思っています。ご参加ご協力よろしくお祈いします。



★3月20日(祝)10時から窯詰めです。参加者は時間厳守でお集まり下さい。今年は、時間をかけて丁寧に詰めたいと思い、翌21日に予備日を設けました。

★窯焚きは、22日(土)～26日(水)までの予定で行います。昼夜を通して焚き続けますので、多くの人手を必要とします。作品を持ち込まれていない方でも、作業や食事作りなどのお手伝いは、短時間でも大歓迎です。また、見学・差し入れなどの暖かい応援もお待ちしています。

(陶芸自主活動グループ「粘土カフェ」代表：田上早百合)

2007年度を振り返って

2007年度は、既に、このアトリエニュースでも何度かお知らせをしましたように、2004年度以来となる「Artist in Residence at IGA 2007」を広域合併後の伊賀市で開催することができました。博要地区を中心とした地域の方々のご協力のもと、新しい形でのレジデンスが再始動した年であります。また実技講習会も地域外へ出向く形も含め、様々な新たな素材にも取り組めた1年でした。参加者も会員のみならず、地域の市民の方やご家族など広がりも出てきました。また、徐々にではありますが、穴窯を中心とした「粘土カフェ」の活動も定着しつつあります。これもひとえに、事務局を構成してくださっている方や一般の会員の方々をはじめ、地域の行政などの関係者や学生ボランティアの皆様のご協力があったことと存じております。紙面をお借りし、お礼を申し上げますと共に、次年度も宜しくお祈い申し上げます。(代表理事：森田耕太郎)